

水道事業 業務の概況

地方公営企業法第40条の2の規定に基づいて、平成22年度阿南市水道事業経営の業務概況について公表します。

平成23年11月1日 阿南市長 岩浅 嘉仁

水道事業の公表にあたって

平成22年度も引き続き、水道事業の使命である安定給水と未給水区域の解消を基本目標とし、平成22年度で完了となる第三次拡張事業に積極的に取り組み、富岡地区では、現在施工中の公共下水道事業と連携し老朽管（石綿管等）を耐震管（NS管）に更新しました。残事業については、引き続き建設改良事業で計画的に実施することとしています。

また、大野水源地管理棟等の耐震診断および補強設計業務等に着手すると共に、市内主要管路においては、石綿管、老朽配水管の布設替工事を順次実施し、災害等に強い水道のまちづくりと、破損事故の未然防止に努めるため、漏水防止作業等を継続的に行うなど、効率的な事業運営に取り組んできました。

事務事業においては、合併後据え置かれていた旧市町の一部地域の水道料金等に係る条例改

正を行い、平成23年度より本市の上水道、簡易水道料金はすべて統一された料金体系となりました。また、水道事業経営健全化計画を策定し経営コストの削減を図るため、企業債1億1458万円の補償金免除繰上償還を実施しました。

水道事業経営については近年の社会経済活動の低迷、給水人口の減少や節水機器の普及等により水需用が伸び悩むなかで、老朽水道施設の更新、耐震化や災害等の危機管理への対応など水道事業が抱える課題は山積んでいます。

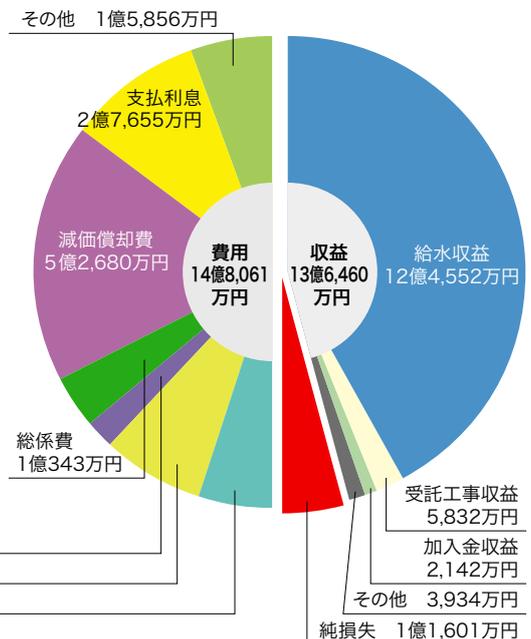
今後、より一層の効率的で健全な財政運営を図ると共に、阿南市水道ビジョンの趣旨を踏まえ、老朽施設の更新・耐震化等、施設の再構築事業を年次計画的に取り組んでいきます。

問い合わせは 水道部業務課 (022-0500) へ

■業務概況

給水戸数	28,785 (戸)
給水人口	72,733 (人)
年間有収水量	10,062,791 (m ³)
一日平均有収水量	27,569 (m ³)
一般用有収水量	8,517,666 (m ³)
業務用有収水量	1,512,716 (m ³)
湯屋用有収水量	17,803 (m ³)
その他有収水量	14,606 (m ³)

■収益と費用 (税抜)



■貸借対照表

(税抜)

科目	金額	科目	金額
固定資産	166億1,556万円	流動負債	1億285万円
(有形固定資産)	166億1,502万円	営業未払金	5,583万円
土地	3億2,148万円	営業外未払金	836万円
建物	5億3,305万円	その他未払金	1,302万円
構築物	148億9,418万円	前受金	1,607万円
機械及び装置	7億9,364万円	その他流動負債	957万円
車両及び運搬具	809万円	資本金	111億9,816万円
工具器具及び備品	3,583万円	自己資本金	13億5,042万円
建設仮勘定	2,875万円	借入資本金	98億4,774万円
(無形固定資産)	54万円	剰余金	68億7,450万円
電話施設利用権	54万円	資本剰余金	56億1,536万円
流動資産	15億5,995万円	利益剰余金	12億5,914万円
現金預金	12億3,123万円	負債・資本合計	181億7,551万円
営業未収金	2億6,190万円		
その他未収金	339万円		
貯蔵品	3,531万円		
前払金	2,812万円		
資産合計	181億7,551万円		